



ひざの健康講座 「ひざの痛みを治して第2の人生を」を開催



7月10日、地域住民を対象に「ひざの健康講座」を開催しました。講師は、当院整形外科の森山一郎医師で、テーマは「ひざの痛みを治して第2の人生を」です。この講座は、平成23年度から開催され、大変好評で今回で5回目です。身近な話題とあって、参加者は約200名と、多くの市民が参加しました。

講座の内容は、膝の構造・痛みの原因とその治療法、膝の負担になりにくい運動療法など、あっという間の1時間半でした。質疑応答では、膝痛に悩む参加者からたくさんの質疑が飛び交い、最後まで大盛況でした。



宇都宮市と宇都宮市救急医療対策連絡協議会の共催 救急探検ツアーに26名の親子が参加



8月5日、宇都宮市の小学3～6年生とその保護者を対象とした「救急探検ツアー」が開催されました。この企画は、市民が救急医療の現場に触れることで、救急受診への理解を深めていただくことを目的に開催している事業です。

ツアーの内容は、副院長(兼)救命救急センター長の小林健二先生による「救急」の概要説明、救急外来処置内の見学、緊急撮影も行う放射線装置の説明、などです。初めて聞く救急医療の話を実際にメモする姿や、普段見ることのできない医療現場にお子さんだけでなく保護者の方も興味津々で、目がキラキラ輝いているのが印象的でした。



ろくげんハーモニーによるサマーコンサート開催



8月21日、サマーコンサートが1階エントランスホールで開催されました。今回演奏してくださったのは、「ろくげんハーモニー」※というギター演奏団体の皆さんです。この日は「夏の思い出」から始まり、「鳥の詩」「人生いろいろ」「与作」など懐かしい曲、計11曲を披露。最後は突然のアンコールにもお応えいただき、「ふるさと」を演奏して頂きましたが、来場者含めての大合唱となりました。

※「ろくげん」はギターの本名の六の字のこと。弦を弾いて素晴らしい曲を演奏したいという気持ちをこめて、「ろくげん(六弦)ハーモニー(調和)」と命名したそうです。



第34回済生会関東ブロック親善ソフトボール大会優勝



6月29日、静岡県清水三保良島スポーツ広場にて、第34回済生会関東ブロック親善ソフトボール大会※が開催されました。当日は、関東各地から17チームが集結し熱戦が繰り広げられ、当院は初戦から順調に勝ち進み、決勝戦の相手となったのは、前回優勝の水戸済生会総合病院でした。試合は追いつき追いつかれのシーソーゲームとなりましたが、辛くも勝利を収め、全国大会出場の切符を手に入れました。

※済生会では、全国済生会の病院・施設によるソフトボールのブロック別親善大会、全国大会が毎年開催されます。



宇都宮出身のサッカー界におけるビッグな2人が特別対談 「サッカーに学ぶ人生」

6月30日、「サッカーに学ぶ人生」と題して、プロサッカー指導者の松本育夫さんとプロサッカー選手の安藤梢さんに、当院のグリーンホールにおいて特別対談をしていただきました。松本さんは現在、Jリーグ栃木SCの常務取締役で、現役時代はメキシコオリンピックで銅メダルの獲得に貢献。2009年には、日本サッカー殿堂入りもされ、サッカー界では大変著名な方です。安藤さんは現在、ドイツ女子ブンデスリーガの1.FFCフランクフルトに所属され、なでしこJAPANでは2011年ワールドカップ優勝、2012年ロンドン五輪準優勝に貢献された名選手です。



今回の対談が成立したのは、松本さんの弟が宇都宮乳児院の院長で、安藤さんの母親も同乳児院に勤務と、お2人が済生会と関係が深いためです。

対談では、数々の華々しい栄光の裏に隠された努力と苦悩のお話や、座右の銘が「全力に悔いなし」の松本さんらしい、サッカーと共に駆け抜けた、情熱的で嘘偽りの無い「全力人生」を、経験談を交えて語って頂きました。

私たち職員は、夢を追う人生の大切さや目標を持って生きていく為に必要なことについて、改めて考えさせられました。

